



令和3年1月20日

卵通信ミニ Vol.4 (優良事例編)

熊本県家畜市場レポート



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします！
大寒に入り、寒さは今が極みといったところですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、受精卵産子のセリが行われている熊本県家畜市場（熊本県大津町）に伺い、セリの様子と生産者の皆さんに伺ったお話をご紹介します。

熊本県家畜市場では月に一度、受精卵産子を取り扱うセリが開催され、九州各地から牛が出荷されています。取材に伺ったのは令和2年10月23日の「受精卵和牛スモールセリ市」でした。（上場日齢は80～120日 平均100日程度）

この日は511頭が上場され、505頭が取引成立となりました。

成立内訳 体外受精卵産子 139頭 体内受精卵産子 162頭 人工授精産子 204頭



セリを待つ受精卵産子たち



購買者も多く活気のあるセリ場風景

熊本家畜市場(R2.10.23)セリ結果			
種類	ET		ET
	黒毛(体外)		黒毛(体外)
	オス		メス
入場頭数	127		13
売却頭数	126		13
最高価格	767,800		603,900
最低価格	225,500		341,000
平均価格	582,127		459,462
平均体重	148		131
kg単価	3,943		3,516
平均日令	107		101
前回比(円)	99,205		41,034

前回開催された9月25日の市場では体外受精卵産子市場平均 去勢 483,306円 雌 418,428円でしたが、取材当日のセリではスタートから高値取引が続きセリ場の活気も高まっていました。

終値では去勢 最高価格 767,800円をはじめ、平均 582,127円(9月比 +99,205円)雌 最高価格 603,900円、平均 459,462円(9月比 +41,034円)と高値に、多くの生産者が笑顔で市場をあとにしていました。

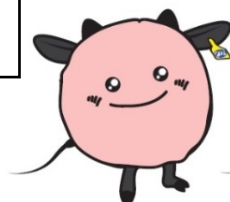


当団体外受精卵を利用いただいている生産者の皆さんにお話を伺いました。

熊本県 A さん

- › 年間で10～20頭の新鮮卵移植を実施している
- › 人工授精で受胎しなかった牛（レポートブリーダー）に移植を行っている
- › 移植はらくのうマザーズの職員に依頼している
- › 受胎率は経産牛で30%、未経産で40%程度
- › 体外受精卵産子の分娩で事故は特にない

はじめまして！
家畜バイテクセンター
マスコットキャラクターの
たまちゃんです！
よろしくお願いします☆



熊本県 B さん

- › 移植は開業の獣医師に依頼している
- › 年間30頭程の体外受精卵産子を出荷している
- › 受胎率は30%程。受胎率向上を要望する
- › IVF産子は生まれが大きい事もある
- › 分娩が遅れたときは予定日から1週間ほど様子を見てPGで分娩誘起を行う

熊本県 C さん

- › 移植は開業の獣医師に依頼している
- › 体外受精卵産子の哺育はたいして手間はかからない

熊本県 D さん

- › 移植は開業の獣医師に依頼している
- › 移植は経産牛にのみ実施している
- › 発情確認をしっかり行い、**体外受精卵の受胎率を確保している！**

宮崎県 F さん

- › 移植は農協の獣医師に依頼している
- › 人工授精で受胎しなかった牛に移植を行っている
- › 追い移植を実施している
- › 分娩事故の経験は特にない

取材の感想

未経産牛、経産牛への移植、人工授精で不受胎牛への移植、受精後の追い移植など体外受精卵の利用方法は皆さん様々でした。しかし、受胎率向上には発情の確認をしっかり行うこと、分娩事故防止には分娩予定日の確認をすることなど、注意点は共通していました。今回の取材を通じて生産者の皆様から直接いただいたご意見やご要望を踏まえて、高品質な体外受精卵を供給できるように尽力しようと、改めて気持ちが引き締まりました。

セリ前のお忙しい中、インタビューを受けてくださった皆様、ありがとうございました！
体外受精卵のご利用につきましては管轄の種雄牛センターにお気軽にお問い合わせください。
今後も市場に出向き生産者の生の声をお届けしたいと思います。



<http://liaj.or.jp>

